

平成22年第1回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
3月9日(火)	午前	1	中 島 清 一 議員
	午後	2	本 多 了 一 議員
		3	金 子 正 子 議員
		4	齋 藤 信 行 議員
10日(水)	午前	5	山 崎 雅 男 議員
		6	埴 豊 議員
	午後	7	小 林 速 夫 議員
		8	土 田 昇 議員
		9	大 岩 勉 議員
11日(木)	午前	10	齋 藤 紀美江 議員
		11	長 井 由喜雄 議員
	午後	12	阿 部 健 二 議員
		13	タナカ・キン 議員

平成22年第1回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 政権交代が実現してから半年が経過した。この間「政治とカネ」の問題や献金疑惑、マニフェストの見直し変更などもあり支持率が低下している。現政権を市長はどのように思われているのか。率直な考えを伺いたい。</p> <p>(2) 政権交代が本市の予算編成に及ぼす影響はどうか。</p> <p>(3) 市長は今季限りでの引退を表明されたが、合併後の初代市長として、そしてまた市政の舵取り役としてその重責を担われてきた。</p> <p>① 4年間を振り返りどのような感想をお持ちか、自己評価は。</p> <p>② 新市長に託したいことは。</p> <p>2. 道路橋の維持補修について</p> <p>(1) 老朽化した自治体管理の道路橋の維持補修が問題となっている。本市における現状はどのようになっているのか。また、遅くとも2013年度までに修繕計画を策定することとしているが、どう対応するのか。</p> <p>3. 就学援助制度について</p> <p>(1) 生活困窮家庭の小中学生を対象にした「就学援助制度」について、適用の可否を決める基準が市町村間によって格差がある。「憲法で保障された教育の機会均等に反する」という指摘もあるが本市としての対応や考えを伺う。</p> <p>4. 環境問題について</p> <p>(1) 「レジ袋削減・マイバッグ持参市民運動キャンペーン」の取り組みが終了したが、どのように評価しているか。</p> <p>① 市民の環境意識は高まったか。</p> <p>② 応募権の応募実績は。</p> <p>5. 教育問題について</p> <p>(1) 2003年度から始まったエコクラス認定制度について本市における活動実績は。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	本 多 了 一	<p>1. 小林市長のいくつかの施策の総括について</p> <p>(1) 地場産業対策に対してとられた施策の総括は。</p> <p>(2) 農業施策に対する対応はどうだったのか。</p> <p>(3) 福祉政策は本当に心が通ったものであったかどうか。</p> <p>(4) 下水路整備に対する予算組みとその姿勢はどうだったのか。</p> <p>2. 都市計画マスタープランについて</p> <p>(1) コンパクトなまちづくりを進める発想の源流はどこにあるのか。</p> <p>(2) JR燕、吉田、分水各駅周辺の歩いて暮らせるまちづくりの実現の可能性は。</p> <p>(3) 新庁舎と上越新幹線燕三条駅周辺を公共交通などでネットワークするとあるが、実現は可能か。</p> <p>(4) 歩いて暮らせるまちづくりが強調されるが具体的にその実現方向は。</p> <p>(5) まちづくり協議会の位置付けと補助金支出は続けるのか。</p> <p>3. 教育費と奨学金問題について</p> <p>(1) 日本の教育費の高額問題を教育長はどのように捉えておられるか。</p> <p>(2) 新政権の施策の高校学費の無償化で、高校生への奨学金をどう位置付けるか。</p> <p>(3) 大学生への奨学金の引き上げは考えられないか。</p>
3	金 子 正 子	<p>1. 学校給食の安全安心</p> <p>(1) 学校給食衛生管理の基準に「教育委員会等は随時施設の点検を行い、その実態の把握に努めるとともに (1) 早急に整備を図ることが必要な事項 (2) 早急に計画を策定し改善を図ることが必要な事項に留意し、施設の新築、改築、改修、修理等の措置を講じること」。「教育委員会等は随時設備の点検を行い、その実態の把握に努めるとともに、次の事項（調理用機器・器具類の設置、シンクの設置、冷蔵庫等の設置、保温食缶・保冷食缶の整備、学校給食従事者専用手洗い設備の設置、温度計及び湿度計の整備等々）に留意し、早急に設備の整備、改善、更新、修理等の措置を講じること」が示されている。教育委員会等は自らの責任において、安全な学校給食の実施のために必要な措置はどのように講じているのか。今後の課題はどうか。</p> <p>(2) 食育基本法に「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である」と示されている。「国及び地方公共団体は、学校、保育所等における食育の推進のための指針の作成に関する支援、食育の指導にふさわしい教職員の設置及び指導的立場にある者の食育の推進において、果たすべき役割についての意識の啓発、その他の食育に関する指導体制の整備等……必要な施策を講ずるものとする」とあるが、燕市に必要な施策はどのように講じているのか。今後の課題はどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	金子正子	<p>(3) 学校給食の民間委託について、市民の意見に対する教育委員会の考え方として、①民間の専門的な知識や優れた事業運営能力など、多様なノウハウを活用し委託化の検討を行い、民間の活力を生かしていく。②学校給食の運営経費は、6割から7割が人件費でありますので安全安心を保ちつつ、運営コストの削減を目指すとして示されている。21年度における燕市内の学校給食の運営形態は、食の安全安心運営コストの削減はどう認識し評価しているのか。市民から多くのパブリックコメントが寄せられた中で、吉田、分水給食センターは統合せず現状を維持し、公設公営を強く望んでおられる意見を燕市はどのように受け止め、運営形態を見直していく考えがあるのか。</p> <p>2. ガス事業譲渡清算金の活用</p> <p>(1) ガス事業譲渡清算金活用基金による活用額が確定していない事業は、吉田地区の小中学校の4校のみになっている状況から、事業の前倒しを図り、活用額の確定に取り組み、基金残高見込み額を有効に活用する検討を早急にしていく必要があると思うが、市はどのように考えているのか。</p> <p>3. 若者のサポート</p> <p>(1) 若者の社会的自立をサポートするための講演会の開催や、相談業務についてのアンケートを行う等の実施について、どのように検討されておられるのか。</p> <p>4. 障がい者の就労支援</p> <p>(1) 障がい者の就労支援を行う市内の障がい者授産施設等で、障がい者が製作した製品を成人式などの市の行事で記念品としてプレゼントをしてはどうか。障がい者に働く喜びを実感してもらえないのではないかと思います。市としての考えを伺う。</p> <p>(2) 障がい者の就労支援のために、拠点施設として旧燕工業高等学校の再利用や敷地内の活用を考えられてはどうか。</p> <p>5. 文化の継承</p> <p>(1) 旧吉田町出身の日本画家横山操画伯や亀倉雄策氏等の足跡を、次の世代に継承していくための環境整備（コンパクトな美術館建設も含める）や、学校教育の場で活用していくための副読本の冊子等は、どのように考えておられるのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	齋藤 信行	<p>1. 教育立市関係の予算及び教職員の対応について</p> <p>(1) 新事業の中でICT活用実践事業として、「子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、基礎学力の定着を目指し、モデル校においてプロジェクターやスクリーンを使用したわかりやすい授業を展開します」とあるが、具体的にどのような授業で、モデル校はどこなのかお伺いします。</p> <p>(2) 新事業等いろいろな授業がある中で、教える先生によってかなりの差が出るのではないかと。それらを踏まえ、職員の研修なども考えているのかお伺いします。</p> <p>(3) 教職員の働く環境及び苦情等の対応についてということで、今は教職員も自治体同士の取り合いもあるのではないかとと思うので、たとえば、いい先生から教えてもらえれば学力も向上するとか、その他いろいろ子どもたちへの先生の関わりも大きいのではないかと、またそれと、先生が授業等いろんな面で教育に専念できる体制を作ってやるのが、市なり教育委員会等で作ってやることも大切なことではないかと考えられるがお伺いしたい。</p> <p>それから、市民及び親などから先生などへの苦情等もあるやに聞いているが、それらいろいろなことまで先生が対応していたのでは授業に先生が専念できないのではないかと考えるが、たとえば、苦情の窓口などはどうなっているのかお伺いしたい。</p> <p>2. 心の燕市8つのチャレンジについて</p> <p>「心の燕市8つのチャレンジ」は、合併前の旧燕市で平成13年から取り組んだということで合併後4年が過ぎますが、学校の取り組みと燕市全体の学校で一体感が生まれたかどうか。今現在の各学校（旧燕・吉田・分水）ではどうなのかお伺いしたい。</p> <p>○目的 子どもたちの健全育成を目指して、学校、家庭、地域が連携して社会で生きていく上で必要な心得を指針として示し、実践を通して習得を図る。</p> <p>○特色 子どもたちが社会で生きていく上で必要な基本的な心得として、市独自に「挨拶、返事、履き物、食事、手伝い、善意、我慢、尊敬」の8項目を掲げて、市内の全幼稚園、小中学校で実践とあるが、参考になる例でもありましたらお伺いしたい。</p> <p>3. 燕市出身及び携わった先人、偉人、事業等の授業について</p> <p>燕市には名誉市民が9名おられますが、どういう仕事でどういったことで名誉市民なのか等、各学校で授業の中でどういった教えをやっているのかお伺いしたい。</p> <p>それからこれは、私が分水の北小学校で聞いてきたことですが、分水の北小では、4年生の社会の時間で15～20時間授業をされているということでした。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	齋藤 信行	<p>指導のポイントとしては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ大河津分水路が必要とされていたのか。 2. どのようにして大河津分水路を作ったのか→大河津分水路ができるまでの苦労 3. 大河津分水路ができた結果、地域の人々の暮らし（生活）がどのように変わっていったのか。 <p>それから大河津分水の資料館、公園に現地学習ということでした。それとこれらの学習の成果は、4年生の学習の記録の中の社会で、大河津分水について調べ、先人の働きや苦心のようすを理解することができる。で、「たいへんよい」、「よい」、「もう少し」の3段階の評価でした。これらは北小の校長先生に伺いましたが、その中で私はせっかく行くのであれば、分水路の改修記念碑（青山士 技士）もあるので見てほしいとお願いしてきました。その中で「萬象に天意を覺る者は幸いなり、人類の為め國の為め」とあるので、授業の中でも先人の言葉の持つ意味なども教えてほしいと話などしたところです。そこで教育長、この言葉の持つ意味合いも答弁をお願いします。また、他の学校など特色などありましたら伺いたい。</p> <p>青山士と宮本武之輔、岡部三郎、大河津分水路などについて、市長からもお考えをお聞きしたい。</p>
5	山崎 雅男	<p>1. 市長の骨格予算を取り組まなければならない心境について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市長任期も残すところ1カ月有余の現在。 厳しい経済状況下での骨格予算を取り組むことに対して、83,000人有余の市民に現在の心境を吐露していただきたい。 (2) 新年度予算は政策的な事業を除いた骨格予算とする方針。 予算編成作業は、市長の進める政策を市民や議会に示し、政治家としての腕の見せどころであるが、任期満了をもって勇退される状況下で、新年度予算編成をどのような考え方で編成されたのか。 (3) 記者会見時、市長選不出馬を決めた時期について、政権交代で世の中が変わり国民、市民の考え方が変わったことが決定的要因と説明されたが、現職ならばその引き際、方法には細心の注意と納得する形が望まれたのでないか。 市民、市政の混乱を招かないようにするには、骨格予算を組むことなく次期首長である新市長に、新年度予算編成や人事面に取り組み残る期間を残して市長任期途中で辞職することは考えられなかったのか。 (4) 地域の実情、必要性を考え取られてきた新庁舎建設移転・国道116号線吉田バイパス・救命救急センター等々、市長は道半ばであるとの考えの中で、今まで市長自身、そして市としての実現に向けての取り組み姿勢と、今後どのように推移しているのか。 <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	山 崎 雅 男	<p>2. 戸別所得補償制度について</p> <p>(1) ①水田利活用自給力向上事業、戦略作物交付単価全国一律で、かなりの格差があり、新規需要米以外は前年度制度よりも大幅に助成減。生産調整に真摯に応じ、経営努力を重ねてきた生産者や地方への配慮が欠けているが、どのような認識とどのような影響が考えられるか。</p> <p>②生産調整による減収により農業所得確保を願い、担い手、そして農業生産組織等が中心となり進めてきた大豆等、交付単価減による取り組みが後退しないか。地域の創意工夫ある取り組みや推進事務はどうなるのか。目標達成を交付要件としないことにより、コメの需給が緩和し過剰米が増加するのではないか。生産現場の懸念や今までの努力について適切な評価と対応が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>③生産調整達成・未達成にかかわらず、水田利活用自給力向上事業交付金助成対象とされているが、生産調整達成・未達成農家が同列に扱われることは、生産農家の理解が得られなく、行政に疑念を抱くのでないか。</p> <p>④加工用米・新規需要米作付けの増加が想定されるが、適正流通確保に対して市としての捉え方はどうなのか。</p> <p>(2) 米戸別所得補償モデル事業であるが、家族労働費の10割算入を始め、地域差や銘柄差など勘案した十分な補償水準の設定を、今後市として国県に強く改善を求めていくべきでないか。</p> <p>(3) 厳しい農業情勢だが、農業再生の礎は農作業従事者、生産に直接担う農家。燕市地区別直近新規就農者の実態とどう増やすかが重要課題かと思うが、新規就農支援事業についての見解を伺う。</p> <p>3. アーケード整備の現状について</p> <p>(1) アーケードの一部には外観上の問題に加え、安全性の確保のためにも整備の必要性が高まっている中で、近年の商店街衰退傾向を見ると建て替え費用捻出や、継続的な維持管理が困難な場所もあるが、アーケード整備の現状、及び維持管理の実態と今後の整備意向についてどのような考え方なのか伺う。</p>
6	埜 豊	<p>1. 新年度予算の編成について</p> <p>(1) 財源問題、今回の予算編成が骨格予算にもかかわらず、財政調整基金の取り崩しは無いものの、すべての財源を投入していることの是非について。</p> <p>(2) 予想される費用を十分に見込んでいるのかについて。</p> <p>2. すこやか赤ちゃん誕生祝金支給事業見直しについて</p> <p>(1) この事業を、債務負担行為で執行しなかった理由、見直しに伴い債務負担が発生する理由は。</p> <p>(2) 支給見込み4億7,200万円の費用対効果の検証について。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	小 林 速 夫	<p>1. 学校教育について（中学校指導要領）</p> <p>学校指導要領は、表現が抽象的で疑問に思っていることがある。また、当市では指導要領をどう理解して授業を進めているのか。</p> <p>(1) 疑問に思っていること（道徳）</p> <p>①人を殺したり、傷つけたりするな、いじめるな、嘘をつくな、盗んではいけない等の表現がない。</p> <p>②信頼できる友を持つとあるが、信頼される人になれるとの表現がない。</p> <p>(2) 指導要領の理解と授業の進め方について（道徳、保健体育、国語等）</p> <p>①個性尊重が取り上げられたことは、経済大国となった日本の道への対する欧米の批判（外圧）や期待があったと聞いている。指導要領では、日本の特徴（個性）は何であり、どのようにふれるべきと考えているのか。</p> <p>②個性尊重と個人主義とは、一体のものである。これらは欧米からの輸入した考え方でその行き過ぎを抑制する役割としてキリスト教があることについて、先生が承知すべきものとして国は判断しているのか。また、生徒にもふれるような指導すべきとしているのか。当市の対応は。</p> <p>③教育基本法では「個人の価値」の尊重とある「個性」との違いは何であるか。また、個性はすでに備わっているものとするのか。各人の傾向として理解し、変化（進化でない）するものとするのか。当市ではこのように理解しているのか。</p> <p>④道徳については、人としてやるべきこと（道）、やってはならないこと（戒律）を教えることである。指導要領では、伝統文化を通じて指導するとされ、当市では相撲、宮大工、日本庭園等が教材となっている道徳には役立つのか。</p> <p>⑤保健体育では、心と体を一体としてとらえるとしている。一体性は日本人の思考法（自然と人、道具と人等）である。一方、欧米のスポーツでは、社会的なストレスから精神を開放するものとされ、肉体と精神は別と考える。そして筋肉トレーニング、メンタルトレーニングを生み出した。「型」を大切にする文化と個性尊重の折り合いをどうつけるのか。指導要領はどう考えているのか。当市の対応は。※心と体の一体性は「型」の文化に通じるものである。</p> <p>⑥国語では、教材選びに科学的見方、考え方を養うものが重要とされる。なぜ国語なのか。また、科学的思考の基礎にはキリスト教があることについて、先生は承知すべきものとして国は判断しているのか。生徒にもふれるような指導としているのか、当市の対応は。</p> <p>(3) 討論の授業、いじめ対応について</p> <p>①適切な題材をもとに討論することが求められているが、中学校では、最大最少各々何時間実施されたか、その内容について数例でよいので伺いたい。</p> <p>②いじめ、暴力は、文化の相違から起こることが多いとされる。当市では、その子どもが所属している家庭等の文化等にも原因を求め、指導、対応をしているのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	土 田 昇	<p>1. ガス譲渡金の活用事業について</p> <p>(1) 旧吉田町のガス譲渡金の明細は、平成 21 年度末の残高見込として、現在 22 億 8,500 万円余が基金として明記されているが、先の 12 月議会で副市長の答弁で、吉田地区ガス事業譲渡清算金活用基金は、合併前の吉田町の区域における義務教育施設の整備に要する経費に充てると規定されている。</p> <p>しかし今のところ、条例の 6 条に基づいて歳計現金に振替運用していますと答弁していますが、振替運用した日付や金額について答弁していないので、どこに繰入したのか、その金額と現状はどうなっているのか詳細に伺います。(ガス譲渡金は旧市・町の固有の財源の立場で伺います。)</p> <p>(2) 吉田中学校大規模改造事業については、実施計画策定時で 17 億 4,000 万円の計画が 3 億 9,400 万円の減額で、13 億 4,500 万円余計画してきましたが、答弁では、平成 22 年度に実施設計でどれくらいの金額を計上するのか、23 年度、24 年度の校舎耐震補強、及び、大規模改造事業の予算の内容について伺うと同時に、平成 25 年度に屋内運動場耐震補強事業、及び、大規模改造事業の実施を予定しているとしているが、その内容についても詳細に伺います。(23 年度、24 年度、25 年度別の金額について)</p> <p>(3) 栗生津小学校の大規模改造事業で 3 億円、及び、吉田北小学校の大規模改造事業で 3 億円、合計 6 億円で、平成 26 年に実施設計、27 年度に工事を行う予定と副市長は答弁しているが、ガス譲渡金での事業であり、早急に事業を実施すべきと考えるが、その点について伺う。</p> <p>2. 吉田南小学校の通学路整備について</p> <p>(1) 新しく開設する吉田南小学校周辺の通学路の整備は急務と思うが、その対応について伺う。(公園も隣接しているのでバリアフリーも含めて伺う。)</p> <p>(2) 富永用水頭首工の道路整備は、以前から改修が必要と指摘されてきたが、通学路も含めてどのように改善するのかその対応について伺う。(西太田 3 区の通学路も含めて伺う。)</p>
9	大 岩 勉	<p>1. 水道事業振興策について</p> <p>(1) 配水管、分水栓修理工事について。</p> <p>(2) 雪害や凍結による被害状況について。</p> <p>(3) 受付、窓口業務は円滑にされているか。</p> <p>2. 生涯学習振興策について</p> <p>(1) 成人式事業の内容について。</p> <p>(2) 文化振興事業の取り組みについて。</p> <p>(3) 「婚カツ塾」ではどのような話し合いがあったのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
9	大 岩 勉	<p>3. スポーツ振興事業について</p> <p>(1) 体育協会、スポーツ少年団の育成の振興を。</p> <p>(2) スポーツ教室、スポーツ大会、健康づくりの向上振興を。</p> <p>4. 福祉事業振興策について</p> <p>(1) 民生委員・児童委員活動の支援について。</p> <p>(2) 地域福祉推進事業は、どのようにされているのか。</p> <p>(3) 敬老事業の実施状況について。</p> <p>5. 燕サービスセンターの業務について</p> <p>(1) 総務係ではどのような相談が多いのか。</p> <p>(2) 建設、農政担当ではどのような相談が多いのか。</p>
10	齋藤紀美江	<p>1. 防災対策について。防災は行政の最大課題</p> <p>(1) 市民の命と財産を守る防災は行政の最大課題について</p> <p>①防災計画の見直しは進んでいるのか</p> <p>②7・13水害や中越大震災・中越沖地震など、今までの災害発生時情報伝達の問題や、安否確認などの問題が指摘されている。どう取り組んでいくのか。</p> <p>③防災訓練について総合防災訓練をしないのはなぜか。燕市に災害が起きないと思っているのか。また、災害対策本部設置図上訓練を実施後、さまざまな課題があったと言いながら、その後検証しながらの訓練をしないのはなぜか。訓練しなくとも上手くやれる自信があるのか。</p> <p>④耐震診断や耐震補強助成の利用状況についてはどうか。</p> <p>⑤災害ボランティアセンターについて。位置付けはどうか。誰が設置するのか。資金はどうするのか。運営は誰がするのか。</p> <p>2. 監査方法について</p> <p>(1) 技術監査の必要性について</p> <p>①今の会計・金銭の授受や使い方などの監査のほかに、設計は妥当か・積算は適切か・資材や工事手法が適切か・書類や現場を見て監査し提言をする技術（工事）監査を導入する必要があるのではないかと。それによって工事費の正当性や談合・手抜き工事などを防ぐことができるのではないかと。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	長井由喜雄	<p>1. 公園整備の状況について</p> <p>(1) 須頃郷第1及び第3から第10号公園の整備について 須頃郷第1号～第10号公園のうち、4月から供用開始となる第2号公園以外の整備状況はどうなっているか。第1号公園は燕市と三条市合わせて16,500平方メートルと広大な面積の公園となっているが、JRやインターチェンジ、商業地に囲まれた中にある。三条市との間で広い面積を生かした公園計画が進められているのか。 また、アパート郡を中心とした住宅地にあり、幹線道路にも囲まれた第5、7、8、9、10号公園は、若い世帯も多く居住する地域の公園として整備も急がれるのではないかと思うがいかがか。その他、第4、6号公園などはどう考えているか。 番号が振られて味気ない10の公園だが、市民から親しみのある名称を募集してはいかがか。公園をさらに身近なものとしキレイに利用してもらえよう工夫を重ねることは大切だと思う。</p> <p>(2) 須頃郷公園で宅地から離れた箇所のいずれかを「動物広場」という位置づけで整備してほしい。 愛犬家の方から、リードなしで犬を自由に遊ばせることができる「ドッグラン」の要望が出されている。ペットとして飼われる犬は、飼い主の敷地外では放し飼いにはすることはできず、犬を運動させる場所を求める飼い主は多いのではないか。 市有地である公園の一部を「動物広場」として位置づけ、ドッグランのみならず、犬の訓練などへの貸し出し、人と動物がふれあえるイベントへの場所の提供などに活用できるものとしてほしい。</p> <p>(3) 「大河津分水さくら公園」はどんな設備をもたせるのか。 22年度末に供用開始が予定されている大河津分水さくら公園は、議会の中でも不要論が出される中で事業が進められてきた。5ヘクタールもの広大な公園に、東屋もトイレも設置されないと聞くがどうなのか。</p> <p>2. 市の公共施設周辺の安全対策について</p> <p>(1) 燕市民体育館裏手の側溝に転落防止柵の設置を 燕市民体育館の横と裏には深さが1メートルを超える側溝がある。こどもの森側の側溝は、以前自転車に乗った生徒が落ちたこともあり、数年前に転落防止柵が設置されて落下防止の措置がとられた。 しかし、体育館や武道場などの裏手は、200メートルの長さにわたり安全対策は施されていない。途中1箇所でグレーチングが6メートル分置かれているが、このほか側溝の上からかぶせられる構造になっていないため、フェンスなどで転落防止策をとることが最も適していると思う。 交通公園には駐車場ができ、夜でも駐車している車もけっこうあるが、隣接する体育館裏には街灯もなく、深さ1メートル3センチの側溝があることで通行や不審者などへの不安が増す状況にある。一刻も早く安全対策をとってほしい。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
11	長井由喜雄	<p>(2) 他の教育関連施設をはじめ、市の公共施設周辺の安全対策について このほか教育関連施設をはじめとした市の公共施設の隣接周辺で危険箇所の把握はされているのか。このうえにたって課題を整理しているか。</p> <p>3. 分水老人福祉センターの活用について</p> <p>(1) 本来機能を取り戻す分水老人福祉センターの活用について 分水コミュニティーデイホームの老朽化に伴う廃止案が出されており、生きがい活動支援通所事業については、「生きがい広場地蔵堂」へ移行するとしている。 一方、分水老人福祉センターでは適応指導教室が他へ移転し、老人福祉センターとしての本来機能が求められている。同センターでは入浴利用者の増加が課題と指摘してきたところだが、これを簡単に閉鎖するのではなく、これらの施設機能を利用して、生きがい活動支援通所事業や高齢者交流ホーム事業など燕地区、吉田地区で行われてきた事業の拠点として活用していくことが大事ではないか。</p> <p>4. 小林市政の子育て支援策について</p> <p>(1) 「小林市政」として取り組んだ子育て支援策について 市長は引退を表明されたが、新燕市発足後の4年間を振り返り、主に子育て支援策についてご自身でどういう評価を下されているか。市長が推進された「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業」については、費用対効果の点でどうだったのか。子育て世代全体への支援が停滞したと言えるのではないか。</p>
12	阿部健二	<p>1. 新庁舎建設の一時凍結について</p> <p>平成22年度当初予算の概要では、法人市民税の対前年比はマイナス33.8%。世界同時不況に陥ってから2年半、地場の多くの企業がピンチをチャンスに変える術もなく、いよいよ倒産が相次ぐであろうことがささやかれている。 おととしの暮れから噴き出した「こんなご時世に何が新庁舎建設だ」という声を市民の一部の声だと切り捨ててきたのが、いわゆる「市民の、市民による、市民のための」小林市政である。 市民によるワークショップを立ち上げ、7,000万円の基本設計を発注していたにもかかわらず、去年の1月、世界同時不況による経済情勢の悪化を理由に、新庁舎建設の一時凍結を決めたのが千葉県浦安市であり、それが今のニッポンの常識と思える中、この期に及んで、それも、今後自らの職務を継続しないという市長が、22年度の当初予算に6,300万円もの実施設計料を組み込んでいることに疑念するのである。まさに「立つ鳥、跡を濁す」ではないのかである。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
12	阿 部 健 二	<p>①現に止まる気配のない法人市民税の減少が、企業の減少につながり、働く場を失った人たちの市外への流出につながるであろうし、人口が減れば、当然、個人市民税も減る。そして、人口が減れば、人口によって按分される交付税は減る。ましてや、国が行財政改革で交付税を減らそうとしている中である。</p> <p>そんな中での新庁舎建設を含めた新市建設計画の見直しは必然と思うが。</p> <p>②今でも、多くの市民が、燕市が夕張市の“二の舞”になることを心配しており、その延長線上に、新庁舎建設が、市民サービスを切りつめてまで優先されることに疑問視しているのである。市長は、新庁舎建設の一時凍結を求める人たちの声が、市民の一部の声でしかないと思っているのか。そして、合併前の約束にあくまでもこだわることにより、燕市が夕張市の“二の舞”にならないと断言できるか。</p> <p>③鳥取県の総務部が出している「交付税措置のある起債」（いわゆる合併特例債）が普通交付税に算定される約束の危うさについての情報を、市民に知ってもらう必要があるのではないかと、先回の12月議会で問うたが、その後の対応は。</p> <p>2. まちの駅つばめ仲町について</p> <p>12月議会でも述べたが、燕福祉会が仲町の旧燕市商工会議所跡地にデイホームやショートステイなどの施設を建てる計画をしていることは、整体や鍼灸の医院を目玉として誘致した九州・博多の上川端町の商店街の成功例からみても、空き地やシャッターアートが目立つ仲町商店街の活性化に大きく貢献するものと思う。</p> <p>「まちの駅」とするか否かは別としても、燕福祉会が企画している障害のある人たちが“夢工場つばめ”で作ったパンを販売する店、近所のお年寄りや登下校の子どもたちが気軽に立ち寄れる場所づくりには（これも12月議会で述べたが）高齢者、子ども、障害者などを幅広く受け入れて、一緒にケアする“共生型介護”の観点からも、市が積極的に協力することを望みたい。</p> <p>①22年度の当初予算には見当たらないようであるが、高齢者の失われた力を呼び戻すとして注目されている“共生型介護”は、今後、燕市として志向すべき介護と思うが。</p> <p>②“共生型介護”の観点から、燕福祉会が企画している構想に助成すべきでは。</p> <p>3. 燕市文化会館自主事業について</p> <p>何年前かに文化会館に行ったとき（そのときも入場者は多くはなかったが）隣には高校生らしい男の子がいて、華やかさとは程遠いファゴットの音に聞き入っているのを見て、これぞ文化会館の自主事業の意義であると思った。</p> <p>①子どもたちに、本物のホールで、本物の（楽器の）音を聴く機会を与えることは、音楽教育として必須なことではないのか。</p> <p>②かたや、教育立市宣言という大風呂敷を広げながら、過去、燕市文化会館自主事業として、少なくとも年に1回は催されてきたはずのクラシック分野の事業をゼロにする意図は何なのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	タナカ・キン	<p>1. 入札について</p> <p>(1) 入札工事の予定価格が平成20年度は設計価格の約95%だったのが、21年度は100%になっていました。この5%の差も全体から見ると大きいですが、21年度の入札工事の予定価格の総額はいくらだったのか。</p> <p>(2) 95%から100%に引き上げた理由は何だったのか。また、この予定価格は合併前は何%で、合併後の各年度はそれぞれ何%だったのか。</p> <p>(3) 平成21年9月17日の吉田産業会館のアスベスト除去工事の入札は、予定価格736万円に対して、落札価格680万円で落札率は92.4%でした。この時、制限価格が予定価格に対して87%になっていて、これを下回った5者が失格になっています。この4年間で行われたアスベスト工事は12件で、平均落札率が63.6%ということを見ると、制限価格が高すぎたと思うのだが、この算出方法はどうなっているのか。</p> <p>(4) 公共下水道汚水管と汚水幹線の設計業務委託の落札率が大きく違うが、その理由は何なのか。この4年間のそれぞれの平均落札率は何%だったのか。</p> <p>2. アスベスト除去工事について</p> <p>(1) 平成21年度燕市一般会計補正予算（第11号）にアスベスト除去工事が6件計上されています。しかし、その中の2件は未処理の部分の除去に合わせて処理部分（固めて封じ込め済み）も除去するというものです。これこそ無駄ではないだろうか。吉田給食センター・分水福祉会館・道金浄水場・その他、まだ未処理の施設も多くあります。そちらを優先すべきと思うが。</p> <p>(2) 封じ込め済みの場所で、施設の大規模改修に合わせて除去するのは当然だが、それ以外の場所も、今後、除去工事をされるつもりか。</p> <p>3. 文化会館について</p> <p>(1) 22年度の当初予算では、自主事業費が前年度の予算額1,346万7千円から511万7千円と大きく減らされています。それに伴い職員数も減るのか。</p> <p>4. 地積測量訂正等請求事件について</p> <p>(1) 6月定例会でも質問をしました。吉田地区のIさんが、合併前の平成15年から国土調査の間違いを訂正してほしいと言っているのに、未だに市は直そうとせず、今度はこの件で裁判ということになりました。2月12日に新潟地方裁判所で双方の第1回弁論が行われました。このとき裁判官は「こんなの裁判にならないでしょう。一人で申請して市に直してもらいなさい」というようなことを言われたそうです。国の筆界特定制度で測定をし直し、Iさんの主張が認められています。それなのになぜ、市は訂正しようとししないのか。</p> <p>(2) この土地は筆界特定の結果、18坪だそうです。では、市はこの土地を何坪で登記されているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	タナカ・キン	<p>5. 燕市吉田日之出町で起こった死亡事故について</p> <p>(1) 1月27日の三条新聞に「市道にうつ伏せで死亡」という大きな見出しで、燕市吉田日之出町地内の市道で近くに住む女性会社員が亡くなったという報道があり、事故と事件の両面から捜査するという話でした。しかし、2月5日の三条新聞の合流点の投書では、今年の夏前から、この場所を流れる排水路のフタがはずされていて危険な状態なので、市の方に町内の役員の方や市議会議員を通じてお願いしたにもかかわらず、そのまま放置され、結果、排水路に落ちて亡くなったという内容です。もしこれが事実なら、市は管理者として職務怠慢であり、責任を問われるものです。まず、この投書が事実なのかお聞きしたい。</p> <p>(2) また、市が貸していたのなら、どういう契約内容だったのか。</p> <p>6. 新庁舎設計コンペについて</p> <p>それぞれの業者から提出された提案が、基本計画に沿ったものか否かは、読み込み不充分ということで採点されたのかもしれない。</p> <p>しかし、平面図に描かれた議場の議席数が18・20・27・30など、24以外の提案や、燕市に無い部や課が書かれているのは、読み込みが不充分という問題でなく、基本計画にまったく目を通していないということになる。</p> <p>これらに対して、審査に関わった副市長はどのような判断をされたのか。</p>